

# 兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 5号)

2023年11月27日発行  
 兵庫のに研究所

海域全般に、依然として大型珪藻のコシノディスカスが確認されています。窒素は、林崎漁場で2~3 μg at/L台、魚住漁場以西では、陸水等の影響により特異的に高い地点を除き、漁場地先で概ね2~4 μg at/L台、漁場沖筋で概ね1 μg at/L台、西播地先漁場で1 μg at/L前後の値となっています。

(水温) 漁場内平均17.8℃ (ほぼ平年並、昨年比1.0℃低い)。(塩分) 平均31.89psu。

(栄養塩、珪藻) 海域全般に、コシノディスカスが確認されており、発生量は横ばいである。各海域のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は、海域東部で500~700細胞(前回値:400~1000細胞)、海域西部で700~1500細胞(前回値:1000~2000細胞)であった。

別府漁場では、陸水等の影響により、アンモニア態窒素の値が特異的に高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	18.0	17.8	17.9	18.8
窒素	2.8	2.6	6.3	5.5
リン	0.56	0.63	0.61	0.66

(11/22) ※窒素の平均は別府を除く

(11/25)

### 西播地先

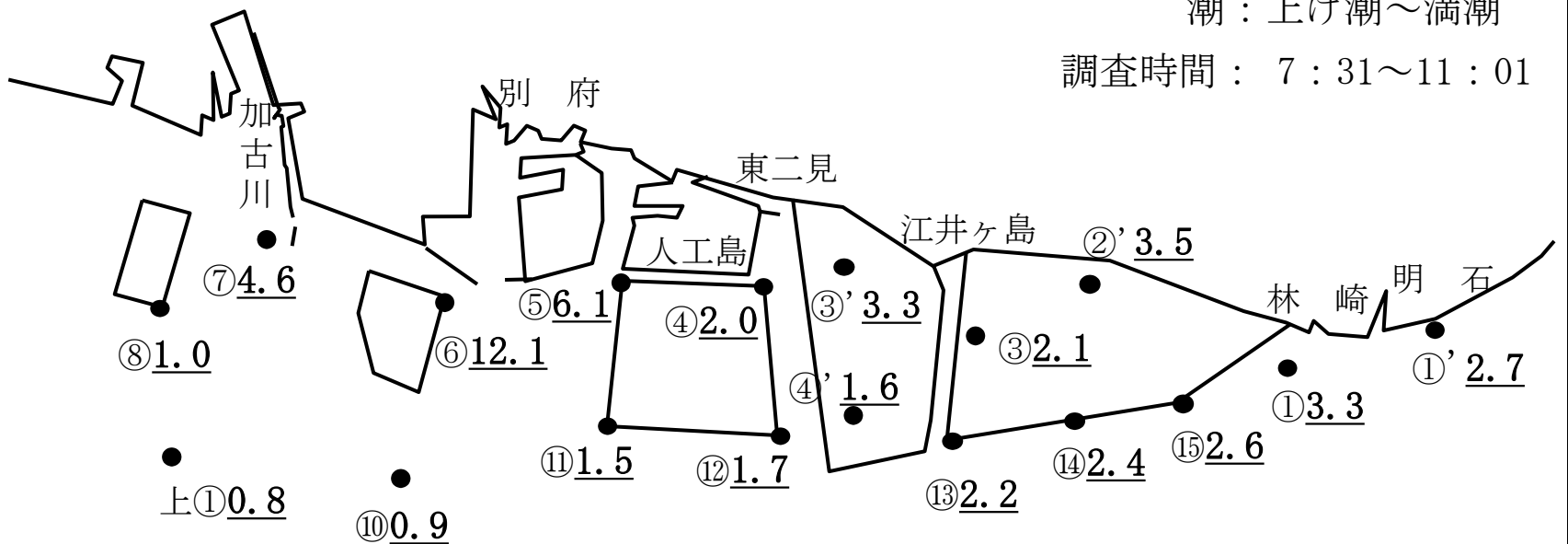
伊保 地	水温	17.1℃	伊保 沖	水温	17.5℃
	窒素	1.2		窒素	0.7
	リン	0.61		リン	0.57
白浜 地	水温	17.3℃	白浜 沖	水温	17.5℃
	窒素	1.1		窒素	0.8
	リン	0.61		リン	0.58

2023年11月27日調査

### 栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ潮～満潮

調査時間：7:31~11:01



### 水温図

